

このまちで暮らしたい	2
川越市障害者計画	6
第7回市民意識調査	10
年未年始の事業案内	12
保管自転車の引き取りはお早めに	16
委譲り木をいたわり木に癒される	26

●防犯チラシが折り込まれています。

小畔川から伊勢原町を望む（笠幡）



スマイルシティ・川越

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

# このまちで暮らしたい



知的障害者グループホーム「ほくほくハウス」で生活する6人の仲間たち



ほくほくハウスの外観

川越市内には、障害者が通う授産施設や地域デイケア施設などがあります。そこには、少しでも自立した生活を目指していくために頑張っている障害者の姿があります。

こうした施設へ通う障害者の中には「親から離れ、一人で暮らしていきたい」「あるいは「同じ障害を持つ仲間とついに暮らしたい」と希望している人たちが少なくありません。

福祉制度の先進地であるヨーロッパの国々では「グループホーム」といわれる、障害者が共同生活をする小規模施設の充実が図られています。

障害者を取り巻くさまざまな課題について、きめ細かい対応が求められている現在、市町村においても、障害者の自立した生活を考え、グループホームなどの設置が始まっています。市内にあるグループホームは四か所。そのうちの一つ「ほくほくハウス」(的場)では、ことしの四月から、知的障害者が共同生活をしています。障害者の自立とグループホームが果たす役割について考えてみました。

## みんなで食べる朝食で一日が始まります

06:30a.m.  
起床。自分のふとんを片づけ終わると、テレビのある居間に全員が集まってきます。「ほくほくハウス」の一日は、みんなで食べる朝食から始まります。

この家で生活する知的障害者の仲間が六人。四月から家族のもとを離れて、同じ障害を持つ仲間と共同生活を始めました。家の間取りは五DK。一階には、台所と居間のほかに二人部屋が二室。二階には、一人部屋が二室と二人部屋が一室あります。

六人のほかに、いっしょに共同生活を始める仲間がいます。「ほくほくハウス」を支援する社会福祉法人「皆の郷」の武藤寛史さんと小林明日香さんを中心とする職員の方たちです。「皆の郷」は、知的障害者通所授産施設やデイケア施設などの運営をしています。武藤さんと小林さんは、仲間の食事を作ったり、入浴を

はじめとする生活の介助をしたりといった仕事をしています。「ほくほくハウス」には、二人の職員(臨時の職員が入る場合もあります)を合わせた八人が生活をしています。

「最初は自分の生活リズムが作れず、戸惑う人もいました。しかし、家族と連絡を取り、自宅での生活状況を聞きながら解消してきました。今では、全員が自分の生活リズムを持って、一日一日を楽しく、自分らしく過ごしています」と、武藤さんは話します。

六人の仲間の中には、自閉症やてんかんの発作をあわせ持つ人がいます。これら障害は、ことばで表現することが苦手なため、環境の変化によって生じるストレスをうまく伝えることができません。そのため、体調を崩してしまう場合があります。そうした状況を緩和するために、家族との連絡は不可欠です。



食事の用意・片づけをはじめ、全員で家事を分担します。歯磨き用品などには、自分のものがわかるように、名前が書いてあります。



表 障害者が共同生活をしている市内の施設

施設の種類	施設名	運営主体	所在地
知的障害者福祉ホーム	潮寮	むけやきの郷	平塚新田
	しらこばとの家	むけやきの郷	平塚新田
知的障害者グループホーム	第2潮寮	むけやきの郷	的場
	ほくほくハウス	皆の郷	的場
精神障害者グループホーム	ひまわり	医川越同仁会	新宿町4丁目
	サンハイム	むけやきの郷	今福
生活ホーム	ステップ川越	生活支援グループみどりの会	砂新田
	松本ホーム	むけやきの郷	吉田

問い合わせ…障害者福祉課管理係 ☎内線2542

07:00a.m.

食事を終えると、仕事に行く準備を始めます。電車を利用して仕事に行く仲間。施設の送迎バスを利用して仕事に行く仲間。家を出る時間までは、それぞれ自分のペースで準備をします。

清水さん、下地さん、矢沢さん、町田さんの四人は、「第二川越いもの子作業所」(今成)でせんべいの製造をしています。山崎さんと斉藤さんは、「川越いもの子作業所」(笠幡)で、木工作業やリサイクル作業をしています。



清水孝さん(39歳)。プロ野球ジャイアンツの大ファン。みんなのまとめ役。



町田詠司さん(31歳)。仕事後、家に帰ってからの楽しみは、1杯のコーヒー。



山崎倫由さん(29歳)。食事の前後のテーブルふきは、山崎さんの役割です。



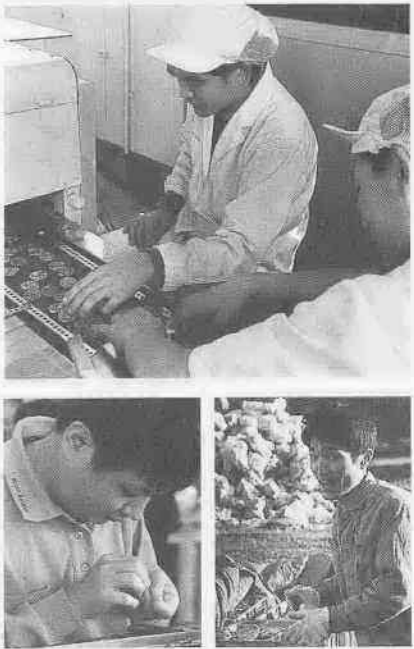
矢沢真一郎さん(29歳)。テレビが好き、ビデオに録画して楽しむこともあります。



下地義和さん(28歳)。音楽が好き。部屋では好きな曲を聞いて過ごします。



斉藤恒さん(27歳)。居間では必ず座いすを使用。洗い物の食器ふきが役割です。



せんべいの製造は、午前10時～正午、午後1時～4時の1日約5時間労働。日によっては、残業をすることもあります。山崎さんと斉藤さんも、午前10時～正午、午後1時～4時まで仕事。4時には送迎バスを利用して、「ほくほくハウス」に帰ります。

## 共同生活が自分を変えていきます

04:30p.m.  
帰宅。徐々に仕事から帰ってきます。六時の夕食までは、部屋でくつろぐ人、居間でテレビを見る人、その日あった出来事を話す人など、それぞれの時間を楽しみます。

07:30p.m.  
入浴。介助を必要とする人もいます。ふろが好きな人が多いので、全員が入り終わるころには九時を過ぎてしまいます。

11:00p.m.  
居間の消灯。就寝時間は、特に決めていません。居間が消灯になると、皆、自分の部屋に戻って行きます。疲れているときは、十一時前に全員が寝てしまうこともありま

これが、「ほくほくハウス」の一日の主な生活です。

「ほくほくハウス」での生活は、月曜日から金曜日までです。人手の問題もあり、週末は各自の家で過ごします。余暇の過ごし方についても、ヨーロッパと比べると、個々の要求を満たすためには、制度・サービスマンで十分に整っているとはいえません。

週末を家族と過ごすことも一つの方法です。しかし、デイサービスの週末利用や公共施設の受け入れ体制などの充実が、さらに図られれば、余暇の過ごし方も増え、自分の好きなように時間を使うことができます。

こうした問題を一挙に解決することは困難ですが、市内のグループホームなどが、地域福祉の充実の役目を担っていくと思われま



ほくほくハウスの歌「青い屋根の家」

(作詞・作曲/大畠宗宏)  
夕暮れが西の空を染めて、電車が走るほくほくを乗せて  
汚れたシャツを洗いながら、明日のことを考える  
家族のもとを離れて、ほくほくの家で  
住み慣れた家を離れて、君は君の力で  
暮らしていくのさ、青い屋根の家

11月21日、大東西中学校で行われた社会福祉講演会に参加。「夢を忘れない仲間たち」という演題の中で、自分たちが暮らす「ほくほくハウス」の歌を披露しました。

## 親の高齢化、いずれは一人の生活に

障害者を持つ児童・生徒が通う養護学校が義務教育となつて、二十年以上が経過しました。卒業後に自立したいという願いをかなえるため、就労を考えた通所授産施設やデイケア施設などの整備を、社会福祉法人や市、障害者を持つ親のグループなどで進めてきました。その後、障害者の年齢も高くなり、「親から離れて、一人暮らしがしたい」といったように、自立を望む人が増えてきました。一方で、介護や援助をする親などの高齢化



週末を自宅で過ごす町田さん。余暇の過ごし方についても、考えていかなければならない問題があります。

「ここは仕事が終わってからゆつくりできるし、自由があるよ。ご飯も食べられるから、好きだよ」と、ほくほくハウスで清水さん。



や体力の減退、一人親家庭の増加など、親の努力だけでは解決できない問題が生じてきました。

ヨーロッパの国々では、障害者が健常者と同じように自立した暮らしができるよう、地域に根づいた生活の場という考えからグループホームが生まれてきました。そこには、障害者がいずれば親と離れ、一人で生活しなくてはならないといった現実的な問題が含まれています。

町田さんの母・初枝さんは「もう少し子どもの世話を頑張ろうという気持ちがあります。詠司は一人の大人です。いつまでも親にいろいろと言われるのは、だれだつていやだと思っんです。それに、いずれば、一人で生活をしていかななくてはなりません。「ほくほくハウス」で暮らすようになって、自分で生活のリズムを作れるようになった気がします。今までは、親の行動に合わせて生活をしてきましたが、共同生活をするようになってから、表情が豊かになったし、自分の意思をしっかりと伝えられるようになりました。七年ほど前にスウェーデンに行つたときに、グループホームという考えがすでに福祉の制度の中に十分浸透しているのを感じました。残念ながら日本では、まだまだ先進地ほど充実していません。でも、この子たちの生活がきっかけとなり、整備されていったらいいと思っています」と、話します。

## 自立には地域の理解も必要です

障害者が自立して生活するには、制度などの充実はもちろん、グループホームのように地域に入って生活することになると、立地場所や設置について、近所をはじめ、地域の理解を得ることも同じくらい大切になってきます。

授産施設などでは、バザーを行ったり、福祉関連の行事に参加したりして、地域から認知してもらえよう努力を続けています。

ノーマライゼーション(障害を持つ人も持たない人と同じように生活でき、共に社会参加できる環境を整えること)やバリアフリー(意識や制度など、さまざま

まな面での障壁をなくすこと)ということとが社会の中に浸透してきてはいます。障害者の自立には、まだまだ地域の理解や意識の改革が必要です。

「ほくほくハウス」では、六人の仲間が生活を始める前に、近所の方や自治会に事情を説明しています。

武藤さんは「これからは、自治会活動などに参加して、ここで暮らす仲間について、地域の方たちにもっと知っていただけるようにしていきたいです」と話します。こうした、努力を重ねることも障害者の自立を助けることへとつながっていくように感じられます。



送迎バスが来るのを待っている、近所の方から「おはよう」と声をかけられました。斉藤さん、武藤さん、町田さん、山崎さんたちがバスを待つ姿は、近所でも毎朝の光景として定着してきています。

## 仲間と共に暮らしてみよう……

「ほくほくハウス」では、重度障害の人から軽度の人までが、同じ屋根の下で共同生活をしています。

小林さんは「職員が一人の介助に付かなくてはならないときに、比較的軽い障害の方が、重度の方の面倒を見るとい状況があります。重度の方と軽度の方がいっしょに生活したほうが、共同生活に必要な、助け合う気持ちが生まれると思います」と、話します。

障害の程度によつては、一人で生活するのは困難であっても、二人なら、ある

いは三人なら協力してやっつけていけることも少なくありません。障害者が自立した生活を送ることができるとい一つの形として、グループホームの存在は、とても大きく感じられます。

家族のもとを離れ、住み慣れた家を離れ、「仲間」どうしが力を借り、共に力を合わせながら暮らしていくことに自立が見えてきます。そして、自分が生まれ育つたこのまちで暮らしていきたいと思ふ気持ちは、障害者も健常者も同じではないでしょうか。

# 川越市障害者計画



昨年、障害者スポーツ普及事業として、総合福祉センター・オアシスで行われたウィルチェアラグビー



総合福祉センター・オアシスでは、毎年12月9日の「障害者の日」にちなんだイベントを行っています。昨年行われた「障害者の日の集い」の様子。

## 「川越市障害者計画」を策定

多くの地方自治体で障害者の「完全参加と平等」に向けたさまざまな取り組みが進められ、「ノーマライゼーション」や「バリアフリー」の考えは、徐々に定着しつつあります。しかし、理念としてのことばの浸透にとどまっている面も多く、その実現に向けたいっそうの取り組みが求められています。また、障害の重度化・重複化、高齢障害者の増加、精神障害者や難病患者への配慮など、新しい課題への対応が求められています。川越市では、「川越市障害者福祉長期行動計画」に引き続いて、平成8年に「川越市障害者福祉長期計画」を策定し、障害者施策のいっそうの充実を図ってきました。ことしの3月、これらの障害者施策のさまざまな成果を踏まえ、近年の障害者を取り巻く社会の変化と新しい課題に対応するため、川越市障害者計画を策定しました。

## 計画の内容

「川越市障害者計画」は、国の「障害者プラン」ノーマライゼーション七か年戦略、「および県の「彩の国障害者プラン」バリアフリー」社会をめざして」を踏まえ、川越市の障害者施策をいっそう推進していくための基本理念と具体的な施策内容をまとめたものです。

また、「第二次川越市総合計画」および関連する部門の計画との整合性を図りながら、行政と市民が一体となって、その実現に取り組むことを目指しています。

## 計画の期間

障害者施策は、社会全体で取り組むべき課題であり、計画的・継続的に実施していくことが必要になります。そのため、本計画のうち、基本理念や基本目標等の「基本的な考え方」に関しては、長期的な視野に立つて実現を図っていきます。また、個々の具体的な施策

策等については、「第二次川越市総合計画」に終期を合わせ、平成十二年度から同十七年度までの六年間を計画期間（平成十四年度を中間点とし、同十二年度から十四年度までを前期、同十五年度から十七年度までを後期）としていきます。

なお、この計画は、介護保険の実施に伴う影響や、その後の社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要のある場合には見直しを図ります。

## 基本理念

「すべての人がいきいきと安心して生活できるまち 川越」

障害のある人もない人も平等に生きていくためには、障害のある人が社会の偏見や差別に妨げられることなく、社会的に自立して、みずからの生き方を主体的に決定できるような社会を築いていくことが基本的条件といえます。川越市の障害者施策は、人生のすべて

の段階で「全人的復権を目指すリハビリテーション」の理念と、障害のある人がない人と同じように生活し活動する社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念を基本にして、「完全参加と平等」の実現に向けて推進していきます。

きるような社会を実現するため、「すべての人がいきいきと安心して生活できるまち 川越」を基本として、障害者支援を行っていきます。

4 社会参加機能の充実をめざして  
5 住みよい福祉のまちづくりをめざして  
6 福祉サービスの充実をめざして  
7 推進体制の整備をめざして

行う推進委員会を設置しました。今後も社会福祉協議会、社会福祉法人等の民間団体との連携はいうまでもなく、障害者との共生による推進体制の整備を進めていきます。

者福祉課・オアシス・総合保健センター・市立図書館で閲覧することができます。

問い合わせ：障害者福祉課管理係  
☎内線25442

## 川越市障害者計画の重点整備目標

項目	施設等の種類	11年度末現状	目標年度	
			14年度	17年度
在宅福祉サービス	ホームヘルパー(常勤換算)	14人	26人	28人
	ショートステイ	17床分	22床分	25床分
	デイサービスセンター	2か所 (30人/日)	3か所 (45人/日)	4か所 (60人/日)
施設福祉サービス	知的障害者更生施設(入所)	3か所 (130人分)	4か所 (180人分)	5か所 (230人分)
	知的障害者更生施設(通所)	2か所 (29人分)	2か所 (29人分)	2か所 (29人分)
	身体障害者療護施設(入所)	1か所 (50人分)	1か所 (50人分)	1か所 (50人分)
	身体障害者療護施設(通所)	1か所 (4人分)	2か所 (24人分)	2か所 (24人分)
	授産施設(身体・知的・精神)	7か所 (205人分)	8か所 (225人分)	9か所 (244人分)
	心身障害者地域デイケア施設	11か所 (183人分)	12か所 (193人分)	13か所 (203人分)
	グループホーム・生活ホーム・福祉ホーム(身体・知的・精神)	6か所 (39人分)	9か所 (53人分)	10か所 (58人分)
	重度心身障害児者通園事業	1か所	1か所	1か所
	心身障害児通園事業施設	1か所	1か所	1か所
	精神障害者小規模作業所	1か所 (10人分)	3か所 (30人分)	4か所 (40人分)
地域での生活支援	障害者生活支援事業	1か所	1か所	2か所
	障害児者地域療育等支援事業	1か所	1か所	2か所
	精神障害者地域生活支援事業	1か所	1か所	1か所
その他	精神科デイケア施設	4か所	4か所	4か所
	コーディネート型障害者雇用支援センター	0か所	1か所	1か所
	登録手話通訳者	4人	19人	25人
	専任手話通訳者	1人	2人	2人

\*上表の数値目標は、介護保険の実施に伴う影響や、その後の社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要がある場合には見直しを図ります。

精神障害者施策について  
現在、川越市では、精神障害者施策として、精神障害者社会復帰施設(通所授産施設、同小規模作業所への助成を行っています(精神障害者保健福祉手帳・通院医療費公費負担についての取り扱い川越保健所)。

また、医療法人・川越同仁会では、精神障害者の生活等相談窓口として「かわごえ生活支援センター」(新宿町四丁目七・五・42・1735)を設置しています。

同センターでは、地域に暮らす精神障害者を対象に、生活相談に応じたり、助言・指導を行ったりして、地域生活を支援しています(電話相談もあり)。利用期間の制限やデイケア施設・授産施設などのような作業等はなく、気軽に立ち寄ることが出来ます。また、個人負担によっては、食事・入浴のサービスも受けられます。

精神障害者の暮らしを支援すると同時に、利用者の要求に合わせ、利用できる社会制度や施設との調整をしていく役割も担っています。

問い合わせ：障害者福祉課障害者福祉係 ☎内線25445



Duet

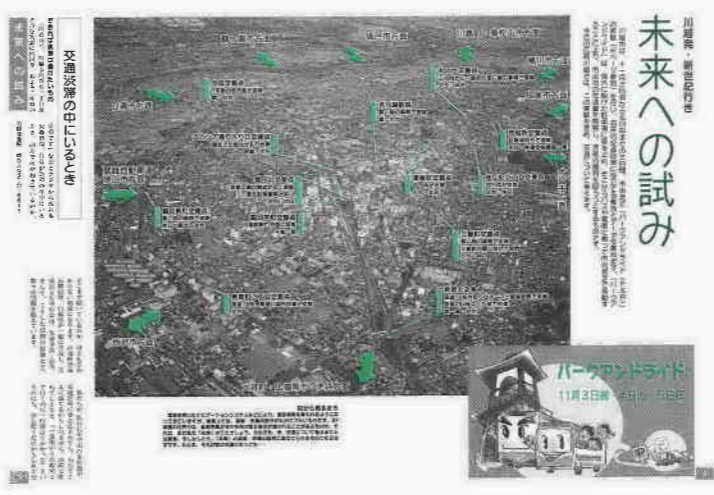
# デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を紹介するコーナーです

## 未来への試み

平成12年10月10日 (No.992)

十一月三日から五日まで、「パークアンドライド」の社会実験を行いました。これは、郊外の駐車場に車を止め、そこからバスや電車に乗って中心市街地まで行くことで、中心部の交通量を調整しようとするものです。道路はまちの骨格。川越の市街地の道路は比較的狭く、途中で折れ曲がっているなど、江戸時代以来の城下町の面影を残しています。その反面、近年の自動車交通への対応が難しく、交通渋滞の一因ともなっています。あと二十日余りで二十一世紀が到来。できるだけ公共交通を使って移動することが、視点を変え、交通問題の解決を早める近道かもしれません。



広報川越No.992 2・3ページ

## 未来への試み

**健康を、感謝しています**  
いきいきと心も体もはずむよに健康リズムにストレッチ。今日も感謝の輪がつどう。総合保健センターのオープン以来、各種教室に参加させていただき、今では、私の健康生活の活力となつています。特に、健康トレーニング関係のスタッフには世話になり、心から感謝しています。「継続は力なり」といいますが、十年後、二十年後もこの健康を保ち続けたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひします。

吉田栄 (66歳・南台二丁目) (一部省略)

**広報川越から**  
施設は、造っておしまいなのではなく、多くの市民の皆さんに利用してもらうことが大事です。快適に継続利用していただくためには、どんな施設でも市民の皆さんと接するときの気配りが欠かせません。それは広報も同じこと。市民の皆さんの情報源として、正確な情報をわかりやすくお伝えしようとお努力をしています。総合保健センターが昨年四月にオープンして以来、広報では利用のきっかけづくりとして、同セン

ターに関する企画記事を二回、掲載しました。また、毎月二十五日号には、「けんこう」のページで同センターの情報を掲載しています。現在、健康トレーニング教室などで同センターに通うかたわら、公民館等の講座にも通つているといふ吉田さんの情報源は、広報川越だそうす。広報の情報に、すべての市民の皆さんのお役に立てれば幸いです。

事がどうしても多くなりがちです。もちろん、出張所管内にも、それぞれの歴史や風土に基づく魅力があります。そして、十一月一日現在、一番街のある本庁地区の人口は、九万九千七百六十二人、出張所管内の人口は、二十二万八千四百五十七人です。市の人口の三分の二以上が出張所管内に住んでいます。これからは出張所管内の情報も、力を入れて紹介していきます。ちなみに、今号の表紙はいかがだったでしょうか？

**市全体を紹介してください**  
川越に引越してきて二年半。車であちこち走るの、だいたいわかりますが、はつきりとは、川越全体の町名(地区)の場所が把握できていません。今、私の住んでいるところは笠幡。いちばん端なので、知らない方もいるのではないのでしょうか。

昭和六十三年四月から始まりました。市民の皆さんが自分のまちに関心を持ってもらえれば、市内各地に潜在魅力を見つけて紹介していきます。でも、そこに住んでいないとわからない、まちの魅力がありません。自分のまちの魅力を見つけたときは、広報室にご一報ください。

**広報川越から**  
文化財などの多くが本庁地区に集中しているため、本庁地区の記

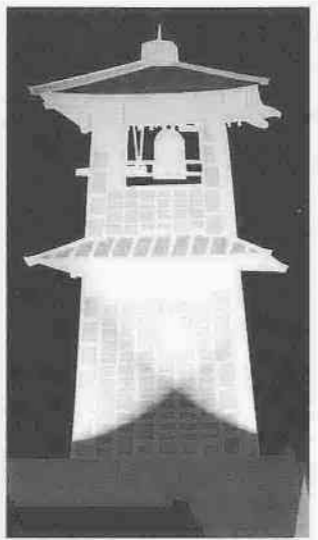
「デュエット」にいただいたご意見・ご感想は、できるだけ広報編集の参考にしていきます。採用させていただいた方には、記念品をお送りします。

# 川越ゆめあかり

## ～窓あかりの美しい街・川越～

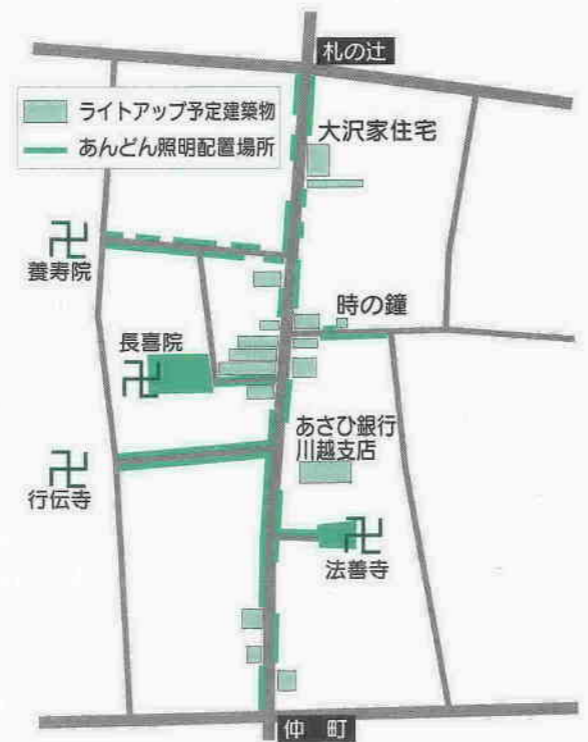
川越市21世紀記念 街並みライトアップ事業

12月24日(日)～1月8日(祝)  
午後5時ころ～10時ころ



重要文化財である大沢家住宅をはじめとする蔵造り・時の鐘・あさひ銀行川越支店など、重要伝統的建造物群保存地区内の代表的な建築物をライトアップ。

世紀を超えて、やみの中で幻想的に浮かび上がります。一番街とその周辺の寺院に続く道などには、あんどんがともされます。川越の夜に、光の装い。ぜひご覧ください。



\*この期間中、街路照明・街路の防犯灯を午後10時ころまで消灯します。12月24日(日)・25日(月)・31日(日)・1月1日(祝)は、一晩中消灯します。

問い合わせ…政策企画課企画担当 ☎内線2114

## 市長への提案から

No.74



川越市長  
舟橋功一

### 無利子で高齢者住宅整備資金をお貸しします。

市政懇談会でいただいたご意見を紹介します。  
〔提案趣旨〕

高齢者住宅整備資金貸付については、無利子で貸し付けしてもらえないでしょうか。

〔お答え〕

高齢者住宅整備資金貸付制度は、60歳以上の高齢者と同居または同居しようとする方などを対象に、高齢者の専用居室などを増改築もしくは改造するための資金をお貸しする制度です。

利子は、平成11年度までは3パーセントでしたが、平成12年度からは無利子といたしましたので、多くの市民の皆さんにご利用いただきたいと思ひます。

制度のあらまは次のとおりです。

- 1 貸付限度額…200万円
- 2 返済期間…10年(月賦償還)
- 3 貸付利子…無利子
- 4 次の要件に該当する方が対象となります
  - ①60歳以上の親族と同居している、または同居を予定している(60歳以上の高齢者が自己の居住用に使用する場合を含む)。
  - ②市内に引き続き1年以上居住し、市税を完納している。
  - ③高齢者の居室などについて増改築等を必要とし、自力で整備することが困難である。
  - ④貸し付けを受ける資金に対して、十分な償還能力を有する。

なお、詳しくは、高齢者いきがい課(総合保健センター内・☎29-4120)に、お問い合わせください。

～ 第7回川越市市民意識調査から ～

# 川越市に望むベスト3

- 緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち
- 子どもやお年寄りなど社会的弱者に思いやりのあるまち
- 公園や広場などが多いうるおいのあるまち

## ■力を入れてほしい施策(複数回答)

### 「道路、交通網の整備」「公園・緑地の整備」の要望が上位

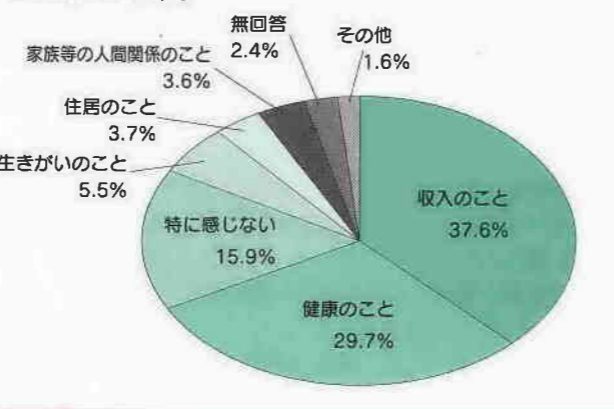
「道路、交通網の整備」と「公園・緑地の整備」については、評価(良くなってきた施策)と要望(力を入れてほしい施策)のどちらも高くなっています。また、「歴史的環境の保全」については、評価は最も高くなっていますが、要望としてはかなり低くなっています。



## ■老後の生活の不安

### 「収入のこと」が4割近く、「健康のこと」がほぼ3割

老後の生活については、8割強の人が不安を感じています。過去の調査と比較すると、上位の3項目については大きな経年変化が見られ、不安を感じない人が年々減少し、収入面で不安を感じている人が大幅に増えてきています。



## ■介護保険サービス

### 居宅サービスと施設サービスでは、「居宅サービス」を受けたい

各年齢層ともに「居宅サービス」が最も多く、加齢とともに高くなっています。また、介護保険サービスについて「考えたことがない」は、20歳代と30歳代でそれぞれ33.8%、26.3%と高い値を示しています。

年齢層	介護保険サービスに関する回答(%)			
	居宅サービス	施設サービス	どちらともいえない	考えたことがない
合計	34.7	20.3	25.2	17.7
20歳代	26.4	17.7	20.8	33.8
30歳代	28.8	17.6	27.2	26.3
40歳代	32.4	21.8	25.9	18.8
50歳代	37.3	22.9	27.5	11.1
60歳代	41.2	19.4	26.6	10.7
70歳以上	40.6	22.3	18.3	9.4

## 調査集計結果報告書の閲覧



質問・回答・分析など全設問をまとめた第7回川越市市民意識調査の「調査集計結果報告書」は、広聴課と市立図書館で閲覧できます。

問い合わせ…広聴課☎内線2121

ことし5月～6月に実施した「川越市市民意識調査」の結果がまとめられました。

この調査は、川越市の満20歳以上の市民の皆さんを対象に、生活環境に関する意識や市政への要望などを伺い、今後の行政施策への基礎資料とするために実施したものです。前回(平成9年)の調査から3年ぶり、通算7回目の調査となります。調査の概要は右のとおりです。

調査結果から抜粋して、その概要を紹介します。

調査対象 川越市在住の満20歳以上の男女(外国籍市民を含む)  
 対象者 3,000人  
 抽出方法 川越市住民基本台帳から地区設定無作為抽出  
 調査方法 郵送による配布・回収  
 回収数 1,769人(59.0%)  
 調査期間 平成12年5月24日～6月19日  
 調査項目 調査項目は、「都市基盤」「産業」「教育・文化・スポーツ」など大きく7つに分かれていて、それぞれに複数の設問があり、全部で39問あります。24問は前回と同じ設問であり、時系列により市民の意識の変化を見ることができます。15問は「省エネ」「介護保険制度」「インターネット」など新しい設問です。  
 \*回答はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入したため、数値の合計は100%を前後することがあります。  
 \*複数回答を求める質問の回答の数値は、合計すると100%を超えます。

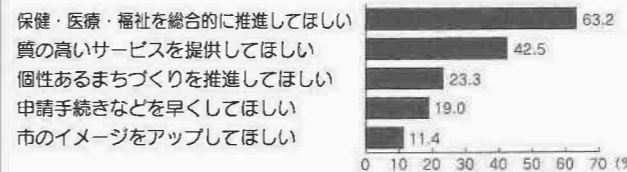
## ■今、必要な市からの情報(複数回答) 半数近くが「医療や健康づくりに関する情報」を求めています

必要としている市の行政情報としては、「医療や健康づくりに関する情報」が46.3%と最も多く、「福祉サービスに関する情報」と「ゴミ・廃棄物の処理やリサイクル情報」も全体の3割を超えて高くなっています。



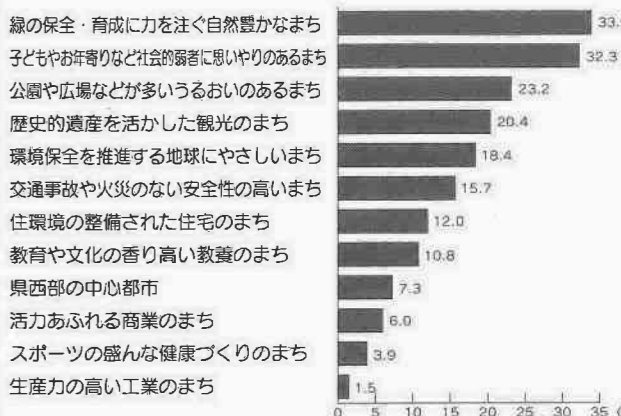
## ■中核市となる川越市に期待すること(複数回答) 「保健・医療・福祉を総合的に推進」と「質の高いサービスの提供」が、上位に

「保健・医療・福祉を総合的に推進してほしい」が63.2%、「質の高いサービスを提供してほしい」が42.5%、「個性あるまちづくりを推進してほしい」が23.3%。以下、「申請手続きなどを早くしてほしい」「市のイメージをアップしてほしい」となっています。



## ■将来どのようなまちにしたいですか(複数回答) 第1位は「自然豊かなまち」、第2位は「思いやりのあるまち」

川越市の将来望まれる都市像については、「緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち」が33.9%で最も多く、次いで「子どもやお年寄りなど社会的弱者に思いやりのあるまち」が32.3%と、ともに3割を超える高い値となっています。



## ■省エネへの心がけ・実行している省エネ活動(複数回答) 省エネを心がけている層が全体の9割 「使っていない部屋の明かりを消す」が8割、「冷暖房機器の設定温度を控える」が6割

使っていない部屋の明かりを消す 80.7%  
 冷暖房機器の設定温度を控える 60.8%  
 電化機器を長時間使用しないときは主電源を切る 43.8%  
 洗濯にふろの残り湯を使う 38.6%  
 入浴時にシャワーの湯を出しっぱなしにしない 27.2%  
 冷蔵庫に中身を詰めすぎない 13.3%  
 自動車を運転するときは経済速度を心がける 10.1%

2001

ごみの収集

燃えるごみ

収集日程は下表のとおりです。

コース名	年末	年始
月曜日・木曜日コース	12月28日(木)	1月4日(木)
火曜日・金曜日コース	12月29日(金)	1月5日(金)

\*年末には多量のごみが出されるため、収集時間がふだんと異なる場合があります。  
\*必ず午前8時までに出示してください。

燃えないごみ

「びん、かん・ペットボトル」「不燃ごみ」の収集は「平成12年度収集日程表」とおりです。

問い合わせ…環境業務課管理係 ☎内線2631

紙類

「紙類」の収集は「平成12年度再生資源(紙類)収集日程表」とおりです。

問い合わせ…環境業務課管理係 ☎内線2631

集積所にせせないごみ

引っ越し等で一度に出る多量のごみまたは事業系ごみは、ごみ集積所には出せません。直接、清掃センターに運ぶか、市の許可業者に運搬を依頼してください。

受付場所	区分	休み
東清掃センター	可燃のみ	土・日曜日、
リサイクルセンター	不燃のみ	祝日、休日、
西清掃センター	可燃・不燃	12/29(金)~1/3(木)

受付時間…午前8時40分~11時50分▶午後1時~3時

\*年末年始は込み合いますので、持ち込む場合は早めをお願いします。

\*新聞・雑誌・段ボール等の紙類やバッテリー・タイヤなどは、市の清掃センターでは受け付けません。処理方法等は、お尋ねください。

問い合わせ…環境業務課管理係 ☎内線

2631▶清掃事業所 ☎23-0912▶東清掃センター ☎23-2645▶リサイクルセンター ☎23-8200▶西清掃センター ☎32-8744

粗大ごみのリクエスト収集(電話予約)

一般家庭の冷蔵庫やタンスなど粗大ごみ収集の電話予約は、年末は12月28日(木)まで、年始は1月4日(木)から受け付けます。

\*毎週金曜日に開催するリサイクル家具展示即売は、12月22日(金)まで実施します。

問い合わせ…リサイクルセンター ☎23-8200

し尿の収集

市の直管区域は環境衛生センターへ、それ以外の区域は許可業者へ直接、依頼してください。

問い合わせ…環境衛生センター ☎24-9191

2000

27(水) 28(木) 29(金) 30(土) 31(日) 1(祝) 2(火) 3(水) 4(木) 5(金) 6(土)

施設の休業案内

12/29~1/3が休み

- 市役所本庁舎 出張所・連絡所・証明センター  
\*自動交付機も取り扱いできません。  
\*出生届・死亡届・婚姻届など戸籍の受け付け、火葬・葬祭用具・市民聖苑やすらぎのさとの使用申し込みは、本庁舎地下1階当直室で行います。
- 市立診療所 ☎24-2648
- 総合保健センター ☎24-8611
- 婦人会館 ☎42-6346
- 公園管理事務所 ☎22-1301  
\*2月分の利用予約は1月5日(金)、午前8時30分から受け付けます。
- 農業ふれあいセンター ☎26-6552  
\*2月分の利用予約は1月4日(木)、午前8時30分から受け付けます。
- 東後楽会館 ☎24-3366
- 西後楽会館 ☎32-6177
- 高階北学習情報館 ☎40-2906
- 公民館  
\*2月分の利用予約は1月4日(木)から受け付けます。
- 生活情報センター ☎42-5241  
\*3月分・4月分の利用申し込みは1月4日(木)から受け付けます。  
\*4月分以降の利用申し込みは、利用月の3か月前の1日から受け付けます。
- 勤労青少年ホーム ☎22-5241
- 児童センター ☎25-7288
- 市民会館・やまぶき会館 ☎22-4678
- 西文化会館 ☎33-6711
- 南文化会館 ☎48-4115  
\*市民会館・やまぶき会館・西文化会館・南文化会館の平成13年12月分の利用予約は1月4日(木)、午前9時から受け付けます。
- 市民体育館 ☎23-0103
- 武道館 ☎24-7220

12/28~1/3が休み

- 小ヶ谷老人憩いの家 ☎45-8494
- 高階北老人憩いの家 ☎48-6565
- サンライフ川越・芳野台体育館 ☎25-5445

12/28~1/4が休み

- 市立図書館 ☎22-0559
- 市立博物館 ☎22-5399
- 蔵造り資料館 ☎25-4287
- 本丸御殿 ☎24-6015
- 川越運動公園 総合体育館・テニスコート ☎24-8765  
陸上競技場 ☎24-8881  
\*2月分の利用予約は1月5日(金)、午前8時30分から受け付けます。
- 総合福祉センター・オアシス ☎28-0200

1/1~3が休み

- 市民聖苑やすらぎのさと ☎26-0090
- 斎場 ☎42-2739

1/1・2が休み

- 葬祭作業所 ☎43-7999  
\*12月31日(日)は正午まで(祭壇の回収・葬祭用具の引き渡しのみ)、1月3日(火)は午前9時~11時(祭壇・葬祭用具の引き渡しのみ)。
- 市宮幸町・連雀町駐車場

1/1が休み

- 川越駅東口公共地下駐車場



診療機関 (12月29日~1月3日)

- 川越市休日急患診療所(内・小) 小仙波町2丁目45-5 ☎23-0601  
受付時間…午前9時~11時▶午後1時~3時▶午後8時~10時30分
- 川越市予防歯科センター(急患のみ) 三久保町18-3 ☎24-3891  
受付時間…午前9時~11時30分
- 年末年始の当番医  
受付時間…午前9時~午後4時
- 12.29(金)…池袋病院 (内・外・整外・小ほか) 笠幡3724-6 ☎31-1552
- 12.30(土)…三井病院 (内・外・整外) 連雀町19-3 ☎22-5321
- 12.31(日)…行定病院 (内・眼) 脇田本町4-13 ☎42-0382
- 1.1(祝)…武蔵野総合病院 (外・内・整外・小ほか) 大袋新田977-9 ☎44-6340
- 1.2(火)…赤心堂病院 (外・内・産婦) 脇田本町25-19 ☎42-1181
- 1.3(水)…広瀬病院 (内・外) 中原町1丁目12-1 ☎22-0533

川越市二十世紀記念事業 スマイルシテイ・川越  
市民と行政の合言葉である「スマイルシテイ・川越」を広く市民の皆さんにお知らせするため、さまざまな事業を実施してまいります。

これは、新たな世紀への夢・希望、未来の川越を描いた絵画作品を募集し、笑顔の絶えない明るく住みよいまちづくりを目的としています。

この合計百四十七点の応募がありました。応募作品を審査し、各部門ごとに最優秀賞、優秀賞、入選を選びました。最優秀賞、優秀賞は十二月二十五日(月)に市民会館で行われる「速水けんたろうファミリーコンサート」会場で表彰します。

問い合わせ：政策企画課企画担当 ☎内線2114

最優秀賞

ほほえみのまち  
川越



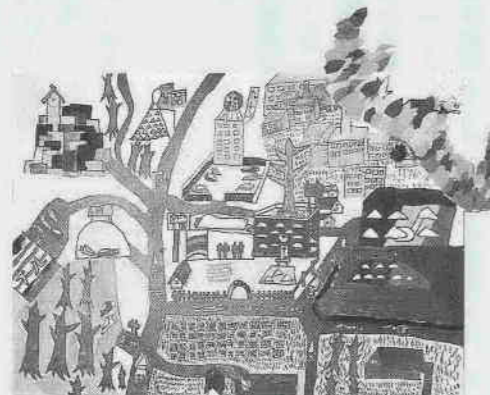
幼児の部  
清水駿伍(松郷)  
みんな仲よし



小学生低学年の部  
高橋香織(南古谷小2年)  
自然いっぱい虫とも友だち川越市



中学生の部  
栗原朋美(城南中2年)  
ほほえみのまち川越



一般の部  
美濃部真理(月吉町)  
星から私達の街へ

小学校高学年の部  
尾形陽介(南古谷小5年)  
未来の南古谷を空中散歩

彩の国みんなが進める交通安全

年末年始の交通事故防止運動 12月15日(金)~1月3日(水)

飲酒の機会が多く、年の瀬の慌ただしさなどから交通事故が心配される年末年始。21世紀を迎えるにあたり、正しい交通ルールの順守、交通マナーの実践により、交通事故のない明るい社会を築きましょう。

- 重点目標 1 飲酒運転等、無謀運転の追放
- 2 高齢者の交通事故防止
- 3 自転車・バイクの交通事故防止
- 4 チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底



### 市職員を募集します

市では、左記のとおり職員を募集します。募集人員は、欠員状況等により変更になる場合があります。給与・勤務時間・休暇等、詳しくは、募集案内をご覧ください。

**職種・募集人員・受験資格**  
 受験資格は、それぞれ、すべての要件を満たすことが必要です。

**■事務職(精神保健福祉士)**  
 精神保健および精神障害者の福祉等に関する業務。  
 募集人員 一人  
 受験資格 昭和41年4月2日から同56年4月1日までに生まれ、普通自動車運転免許を有する方

**■清掃員II**  
 し尿の収集等の業務。  
 募集人員 一人  
 受験資格 昭和41年4月2日から同56年4月1日までに生まれ、普通自動車運転免許を有する方

**■工務員**  
 道路の補修等の業務。  
 募集人員 一人  
 受験資格 昭和41年4月2日から同56年4月1日までに生まれ、普通自動車運転免許を有する方

**■用務員**  
 出張所・保育園および小中学校等の用務の業務。  
 募集人員 二人  
 受験資格 昭和41年4月2日から同56年4月1日までに生まれた方

**■清掃員I**  
 ごみの収集等の業務。  
 初任給

**■事務職(大卒の場合)** 二十万七千七百九十円  
 \*学歴・経歴等により異なります。  
**■事務職以外** 十七万三千四百七十円  
 \*職種・年齢により異なります。  
**■職種・年齢により異なります**  
 \*職種の年齢により異なります。  
**■試験申し込み(郵送不可)**  
 受付日時: 12月18日(月)~20日(水) 午前9時~午後4時  
**■受付場所**: 市役所本庁舎五階5A会議室  
**■採用試験**  
 試験日: 1月14日(日)  
**■試験会場**: 埼玉県川越商業高等学校(旭町二丁目三七)  
**■募集案内・申込書の配布**  
 職員課(市役所本庁舎四階)・出張所・南連絡所(アトレ一階)・川越連絡所・本川越駅前センター(西武本川越駅ペベ二階)で配布しています(郵送不可)。  
**■問い合わせ**: 職員課人事係 ☎内線2231

### 集団回収事業報償金の申請を受け付けます

平成十二年度第3四半期(十月一日~十二月三十一日)の集団回収実績に対する報償金申請を次のとおり受け付けます。

期限内に遅れると、報償金の支給は受けられなくなりますので、ご注意ください。

**■受付期間**: 1月4日(木)~17日(水)  
**■受付場所**: 環境政策課(市役所本庁舎五階・郵送不可)  
**■提出書類**: 集団回収事業報償金交付申請書(代表者に郵送済)・集団回収実施報告書  
**■問い合わせ**: 環境政策課減量リサイクル推進係 ☎内線2615



### 工業統計調査にご協力ください

調査は、製造業の事業所を対象に、その実態を明らかにすることを目的とし、国や都道府県の施策立案の基礎資料となります。調査内容は、統計法によって保護され、本来の目的以外に使われることはありません。

調査方法は、県知事が任命した調査員が、対象事業所を訪問し、調査票を配布・回収します。ご協力をお願いします。

**■調査期間**: 12月中旬~1月中旬  
**■問い合わせ**: 情報統計課統計係 ☎内線2265



調査は、製造業の事業所を対象に、その実態を明らかにすることを目的とし、国や都道府県の施策立案の基礎資料となります。調査内容は、統計法によって保護され、本来の目的以外に使われることはありません。

調査方法は、県知事が任命した調査員が、対象事業所を訪問し、調査票を配布・回収します。ご協力をお願いします。

**■調査期間**: 12月中旬~1月中旬  
**■問い合わせ**: 情報統計課統計係 ☎内線2265

### 三富景観ワークショップ参加者募集

三富地域の景観の保全や活用などについて話し合う、市民参加のワークショップを川越市・所沢市・狭山市・大井町・三芳町に住む方とともに開催します。

**■日程**: 1月5、3月の土曜日(四回・第一回は1月27日(土))  
**■定員**: 五十人(抽せん)

### 中小企業経営安定化資金融資を実施中

融資制度名	貸付限度額	貸付利率(年利)
中小企業近代化資金	三千万円以内	二・〇パーセント
公害防止資金	一千万円以内	一・九パーセント
商店街近代化資金	三千万円以内	長期プライムレート
小口金融あっせん	一千万円以内	一・八パーセント
同和対策中小企業事業資金	一千万円以内	一・五パーセント
特別小口無担保無保証人	一千万円以内	一・八パーセント
駐車場建設資金	所要額の七〇パーセントで四千万円以内(ただし、自治会は三千万円以内)	二・五パーセント
中小企業従業員独立開業資金	二百五十万円以内	一・九パーセント
中小企業保証取得資金	五百万円以内	一・二パーセント

市では、現在、中小企業安定化資金融資(二千万円以内、利率一・三パーセント)を実施しているほか、中小企業者を対象とした上記の各種事業資金融資制度を行っています。気軽に相談ください。

**■問い合わせ**: 商工振興課商工係 ☎内線2723

### 年末年始の事故防止にご協力ください

機械の停止・起動に気をつけて  
 大掃除や施設の再始動により汚水・廃油の流出事故が発生しやすくなり、多量の廃棄物焼却は大気汚染を引き起こすことがあります。事業者の皆さんは、次のことに注意してください。

●施設の運転停止・始動時にバルブ・スイッチ類の点検確認を行う。  
 ●溶剤・油類・酸・アルカリ溶液等、廃棄物の処理・処分を適正に行う。  
 ●廃棄物の焼却を控える。特に解体廃材やプラスチック類は、焼却

することに、黒煙や悪臭が生じるため、焼却はしない。  
 \*事故が発生したときは、速やかに応急処置をとり、直ちに環境保全課まで連絡してください。

**■問い合わせ**: 環境保全課水質保全係 ☎内線2625

未処理場の機能を低下させることにもなり、機器の維持管理に影響を及ぼします。さらに、放流水の水質悪化により、河川の汚濁につながることも考えられます。

環境の保全は、家庭から始まります。河川の美化への意識を高め、下水道への排水にも気をつけましょう。

下水管やマンホールなどの異常に気づいたら、連絡してください。  
**■問い合わせ**: 下水維持課排水指導係 ☎26-1277

### 川越市美術館準備室所蔵日本画展 雅邦の写意・青樹の写実

開催中(12月17日(日)まで) 市立博物館・特別展示室

近代日本画史に大きな足跡を残した川越ゆかりの作家、橋本雅邦・小茂田青樹の作品展示。

■橋本雅邦(天保6年-明治41年)…川越藩主松平周防守の御用絵師の家に生まれる。日本画の写意、精神性を重視。みずからの実践とともに多くの俊英を育て、近代日本画の基礎を築きました。

■小茂田青樹(明治24年-昭和8年)…写生を元にした写実表現を取り入れつつ装飾性を研究。日常から画題を見出し、季節感あふれる新鮮な作品を残しています。

**開館時間** 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
**入館料** 大人200円(160円)/学生・生徒100円(80円)/児童50円(40円)  
 \*( )内は20人以上の団体料金です。

**講演会「雅邦の写意」** 市立博物館・視聴覚ホール  
**日時**…12月16日(土) 午後1時30分~3時30分  
**講師**…練馬区立美術館学芸員・野地耕一郎さん

**問い合わせ**…美術館準備室 ☎内線2431

### 第52回

## 川越市成人式

1月8日(祝)

### おめでとう 21世紀の新成人

\*市民会館周辺は混雑します。時間に余裕をもってお出かけください。



### 保管自転車の受け取りはお早めに



駅周辺に放置され、撤去した自転車のうち、引き取られないまま、処分されるものが増えています。撤去を実施した場所の周辺に設置している看板に撤去の日付を記入しています。自転車を放置した心当たりがあり、撤去されたことが確認できた場合は、なるべく早めに自転車保管場所まで引き取りにお越しください。

自転車保有者がわかる場合は、返還の期限を記した返還通知ハガキを送っています。事情により、期限までに取りに来られない方は、ご連絡ください。

持ち物：①本人であること  
②を証明するもの(自動車運転免許証・保険証・学生証など)  
③自転車のかぎ  
④印鑑  
⑤撤去保管料(千円) ⑥返還通知ハガキ



### 留守家庭のお子さんを預かります

学童保育室は、両親が働いていて、常時留守になる家庭のお子さんを預かることです。

保育室では、指導員が、異なる年齢の児童を集団の中で保護・指導しています。

平成十三年四月から入室を希望する方は、申請してください。なお、引き続き入室を希望する方も手続きが必要です。

保育室の所在地・電話番号については、「川越市民のしおり」76ページをご覧ください。

対象：小学1～3年生  
定員：各保育室とも四十人  
保育時間：学校放課時(午後5時30分(授業のない日は午前8時30分から))

\*日曜日・祝日・十二月二十九日(金)～一月三日(水)を除きます。

平成13年度学童保育室入室案内

保育料：一人一か月三千円(免除措置あり)

手続き：1月5日(金)～31日(水)に、入室申請書・両親の勤務証明書・児童票(正・副)などを教育財務課または各保育室に提出

\*必要書類は、同課と各保育室に備えてあります。

問い合わせ：教育財務課学童保育係 ☎内線2835

### ホップ ステップ さんばく2000



オープニングのテープカット



米すくい、腕いっぱい豊作だ!



姉妹都市コーナー

十一月十一日・十二日の二日間、川越運動公園で第十三回川越産業博覧会が開かれました。会場には、両日で十万人が訪れ、市内の各業種の展示、小浜市・棚倉町の姉妹都市コーナー、フリーマーケット、各種アトラクションを楽しんでいました。米のすくい取りは、大勢の人が集まって好評。秋晴れに恵まれ、とてもにぎやかな会場でした。

### 川越市場まつり



バナナ売場の雰囲気は独特



展示された魚に興味津々



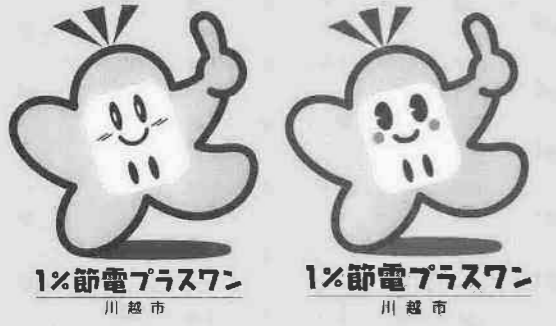
戦うクウガを子どもたちが声援

恒例となった十一月二十三日の川越市場まつり。会場の埼玉川越総合卸売市場は、旬の水産・青果、各加工品などに大勢が集まり、午前九時には販売開始を前に行列を作る光景も随所に見られました。オープニングセレモニーが行われ、開場の合図とともに目的の売場へ。子どもたちは、仮面ライダークウガショーに大きな声援を送っていました。

### 1%節電プラス1

#### 川越市省エネシンボルキャラクター決定

「無理なく、抵抗なく、自然体で」をモットーに取り組んでいる「1%節電プラス1運動」を市民の皆さんといっしょに進めていくため、シンボルキャラクターを公募したところ、全国から273点に及ぶ作品が集まりました。これを「さんばく2000」来場者による「まちかど審査」と専門家の審査を経て下記の最優秀作品が決定しました。



1%節電プラスワン 川越市 省太くん 節ちゃん

市では、最優秀作品を基に川越市の省エネシンボルキャラクターを作成し、ポスターほか、各種刊行物啓発用資料等に活用していきます。

11月29日に表彰式が行われ、優秀賞を受賞した小泉優季さん(左)、中嶋望美さんに表彰状と記念品が贈られました。



各賞の入賞者は次のとおりです。

- 最優秀賞 東 信慶 (福岡県福岡市)
- 優秀賞 信貴正明 (新潟県燕市) 堀江 豊 (広島県廿日市市)
- 優秀賞 (児童・生徒部門) 小泉優季 (南古谷小学校5年) 中嶋望美 (南古谷小学校5年)

問い合わせ…環境政策課節電推進係 ☎内線2613

### 川越運動公園に自由広場がオープン



開園式後に複合遊具で遊ぶ子どもたち・背景は総合体育館

陸上競技場・総合体育館・テニスコートなどがあり、日ごろから多くの方に利用されている川越運動公園に新たな魅力が加わりました。

自由広場は、芝生が植えられた一万七千五百十六平方メートルの緑あふれる憩いの場。散策園路(二百四十メートル)、複合遊具、かけっこコース(百メートル・三コース)、木製ベンチ・木製テーブルを備えています。また、周囲には南田島地内から移した桜が植えられています。

十一月二十六日に開園式が行われ、式が終ると子どもたちは元気に遊び回っていました。

昭和五十九年から進めてきた川越運動公園事業は、自由広場のオープンにより完了しました。

問い合わせ：公園整備課公園工務係 ☎内線3235

# ノーカー&アイドリングストップにご協力ください

二十一世紀も、しばらく化石燃料で車が走ることになりそうです。それによって生じる大気汚染、地球温暖化などを抑制するには、化石燃料をうまく使い、できるかぎり、有害な排気ガスを出さないようにする必要があります。それには機器の技術的な進歩、そして、身近な原因の一つである車両に乗る私たちの行動が重要な役割を果たします。

十一月三日・四日・五日に実施した「パークアンドライド実験」。皆さんのご協力により、実験を行うことができました。実験参加状況の速報をお知らせします。

実験は、自家用車の利用を控え、公共交通機関によって移動した人のデータ、参加者の意見などを将来の交通政策に生かすもの。参加者の多くが実験を肯定し、「条件

が合えば利用したい」「何らかの形で続けるべき」という意見が多数を占めています。

交通渋滞の解消方法を検討するには机上で考えるだけでは十分なものではありません。また、今回の実験だけで結果が導かれるわけではないことも事実です。しかし、こうしてデータを集め、活用することによって将来の交通がよりよ

いものになるとしたら、そこには大きな期待が寄せられることになります。

人口増加・観光都市という市の状況のほか、さいたま新都心および圏央道建設など、交通量増加が考えられる要素があるため、交通への取り組みは急務です。そして、それは、環境の課題への取り組みにつながります。

移動手段・物流・スポーツ・ファッションなど、車は生活に密着してきました。しかし、マナーを忘れてはいけません。そして、なるべく車に乗らない「ノーカー」、支障のない範囲で駐車中のエンジンを止める「アイドリングストップ」など、だれでもできる環境への負荷軽減も……。

移動手段・物流・スポーツ・ファッションなど、車は生活に密着してきました。しかし、マナーを忘れてはいけません。そして、なるべく車に乗らない「ノーカー」、支障のない範囲で駐車中のエンジンを止める「アイドリングストップ」など、だれでもできる環境への負荷軽減も……。

## パークアンドライド実験

ご協力ありがとうございました



### 実験実施状況(速報)

天候	3日(祝)	雨のち曇り
	4日(土)	晴れ
	5日(日)	晴れ

### 実験参加車両台数

駐車場名	3日	4日	5日	合計
伊佐沼	50	53	41	144
西川越	39	30	42	111
南台	36	31	35	102
合計	125	114	118	357

### 実験参加人数

駐車場名	3日	4日	5日	合計
伊佐沼	111	100	88	299
西川越	82	60	86	228
南台	78	63	65	206
合計	271	223	239	733
幼児	51	30	47	128

\* 幼児の人数は、合計に含まれていません。

### バス情報提供システム実験モニター数

	3日	4日	5日	合計
市民モニター	7	1	2	10
P&Rモニター	28	48	39	115
合計	35	49	41	125

\*パークアンドライド実験については、広報川越No.992または川越市ホームページをご覧ください。

川越市HP <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

問い合わせ…総合交通政策課都市交通政策担当 ☎内線2131



# あほご つかは たほん かかが いね

## 九月から完全給食を実施

市立保育園の給食が、九月一日から保育園で主食(ご飯やパン)と副食(おかず)を作る「完全給食」になりました。

これまで各保育園では、二歳以下の園児に対して主食と副食を提供していましたが、三歳以上の園

児については副食に限られ、主食は各家庭から持参する方法を採っていました。

完全給食の実施により、園児は温かいご飯が食べられるようになりました。保護者にとっても朝の時間的な余裕が持て、副食の献立に合わせ、ご飯・パンを用意する

手間がなくなりました。また、夏の食品衛生において、炊き立てが食べられることは好ましいものです。内容も栄養士さんが主食と副食をあわせ、食事全体のバランスをとることに、子どもの好みにも偏らないようになります。



- ①散歩から戻ると手足を洗います
- ②テーブルを片づけるお手伝い
- ③みんなでぞうきんダッシュ
- ④ふとんを運んでお昼寝タイム
- ⑤寝る前に楽しい本読み



この日の主食は誕生日メニューの混ぜご飯でした



年長児になると上手にソース配りのお手伝い



おいしい? ン



3人で調理しています

## 子どもたちは元気で

しばらくして園児が午前の散歩から帰ってきました。手足を水で洗って昼食の支度に取りかかります。訪ねた日は、後で誕生日会があるため、年長児の保育室で全員そろって昼食。年長児は、自分の配せんが終わると手伝う余裕も見られます。

「いただきます」のあいさつで

## 保育園を訪ねました

実施から三か月が経過。月吉町保育園を訪ねました。

冬期には、園児が持つてきたご飯を暖飯器で温めていたそうですが、やはり作りたてのほうがよさそう。また、おそろいの器で同じものを食べると嫌いなものでも食べるようになるとか。

味付けについて、調理員さんに尋ねると「子どもたちに食材の味を知ってもらうため、全体的に薄味にしています」とのことでした。

昼食が始まり、みんな楽しそう。もつと食べたいときは、お代わりができるのも魅力です。食べる量は、大人顔負けという子もいます。早く食べ終わって遊んでいる子もいれば、片づけ間際まで食べている子もいて伸び伸びとした印象でした。

## 次代を担う子どもたち

昭和四十六年に建てられた園舎は老朽化し、今年度かぎりでは明るく広い、新しい園舎への移転が決まっています。

昼食が終わると、テーブルとすを元の場所へ戻してぞうきんがけ。たくさん園児をばぐんだ部屋が、遊び場に戻っていきます。子どもたちにとって大切なものは、時代が変わっても、どこの保育園でも同じ。そこには人と人、食事、昼寝のふとん、さまざまなぬくもりを感じながら、育つ子ども姿があります。

11月16日(木)  
川越プリンスホテル

# 魅力的な川越の町並みをどのように残し、どのように活性化につなげていくか 2000 都市景観シンポジウム



「再び進ることができないものを残し、生かすのは、現在、生きている私たちに大きな責任がある」ということばには、既存の環境を生かす建築の姿勢があり、「まちづくりは闘い」とも言う安藤忠雄さん。「予定調和ではなく、新しいことに勇気をもって挑戦する、境界を超えようとする勇気があればいい」という積極性に新時代のまちづくりの「可能性」が見えてくるようでした。



熱演にたくさんの拍手が贈られました

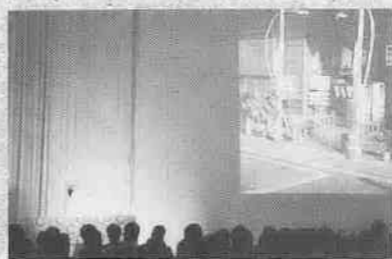
「2000 都市景観シンポジウム」が、東邦音楽大学(今泉)のマリンバアンサンブルによるミニコンサートで始まりました。

「プレリウド」が終わると、開会あいさつ、そして、舟橋功一市長から「かわごえ都市景観表彰」、岩堀徳太郎川越商工会議所会頭から、川越商工会議所創立100周年を記念した「小江戸生粋建築賞」の表彰が行われました。

表彰に引き続き、馬場瑋造審査委員長が受賞作品をスライド上映しながら総評を行い「都市景観の創出は、人々の生活・活動とのかかわりが深くなっています」と解説。それぞれの特徴などを紹介しました。

建築家・安藤忠雄さんの講演は「可能性をつくる」がテーマ。建築の魅力のほか、自分自身が設計した作品を紹介し、その考え方や設計・施工の過程で生まれたエピソードなどをユーモアを交えて語りました。また、環境を考えた植樹の活動では、自分たちの身の回りからやっていたいかなければ、と新時代のまちづくりをアピールしました。

およそ500人の参加者は、建築家のエネルギーを吸収していたようでした。



受賞建造物を総評する馬場瑋造審査委員長



受賞作品のパネル展示



都市景観への関心の高さがうかがえる会場

## 都市計画マスタープラン

# 市民が創造するまち5

都市計画課計画担当 内線3214

## 地区のまちづくり活動の事例 (住宅地)

これまで、商店街のまちづくりの取り組みを紹介してきましたが、今回は住宅地における取り組みを紹介いたします。

山田地区(山田・宮元町の一部)では、昭和四十年ころから急速に宅地化が進行しました。それに対する道路等の基盤整備が追いつかず、住環境や防災上の問題が生じていました。

このような中で、住民は、まちづくりを考える会を開いて検討してきました。そして、地区内の道路整備を図るため、建て替え等の際には道路から自主的に壁面後退して、道路空間の確保を図っています。

このように、住民協力を得て、市では現在、地区内の道路整備を実施しています。

上戸新町地区(上戸新町)は、昭和四十九年の団地造成によってできた住宅街です。

地元自治会では、よりいっそうの良好な住宅地環境を目指して、市と研究会を開催して、検討してきました。その結果、建築物の用途や建ぺい率・容積率、敷地細分化防止等を定めた地区計画が決定

されました。平成十一年には、地区計画の内容の一部が建築条例化されています。

川越グリーンパーク(古谷上)も、造成によって一体的に整備された住宅団地です。しかし、造成から十八年が経過し、団地内の道路・植栽等の老朽化や駐車場・駐車場不足が深刻化しています。さらに、団地内の高齢化により、段差のないバリアフリー化も求められています。

こうした状況から、管理組合では団地全体を一つの「まち」としてとらえ、地元自治会と協力して新たなまちづくりに取り組むため、「川越グリーンパーク環境整備計画(緑と安らぎの住まいのプラン)」を策定して住環境を整備することにしました。九月には、計画の策定に向けて、団地内の現況調査や住民アンケートを実施。アンケートの回収率は九割以上で、住民の関心も非常に高いものとなっています。

これらの地区のように、住民が自分たちのまちに高い関心を持つことが、住民主体のまちづくりへの第一歩ではないでしょうか。

## 同和教育シリーズ

# 路地裏の人権 ③

同和对策課対策係 内線2282

このシリーズは、平成十二年二月に読売新聞社編集局管理部長・田中正人さんを招いて行った人権・同和問題講演会の要旨をまとめたものです。

## ある駅での光景

私は生活圏が東京都内なものですから、都内の事例になつてたいへん恐縮ですけど、こんなことがありました。山手線のある朝のラッシュアワーの時間帯、ある駅のホーム上での光景でした。山手線は、ご存じのように日本一の混雑率といわれています。ホームの上もまた、あふれんばかりに人の群れでいっぱいなんです。たまた私の歩いていくところが、ホームの上に敷設されている点字ブロックの上でした。

私のすぐ目の前の二人連れの女性、同じ方向に同じような速度で歩いていました。二人の女性、どちらもちょうと高いヒールの靴をはいていました。突然、その女性の一人がフッと消えたんです。消えたというのは私の表現で、実際は転んじやったんです。ひざをぶつけたらしいんです。ゴツツという音がしましたから、相当痛かったんだと思います。「痛いっ」という叫び声が聞こえました。転んでしまった女性が隣の女性にこう言いました。「このイボイボ、邪魔ね。ヒールの先が引っかけ

かっつて転んじやった。痛い、痛い。」

彼女が言ったイボイボというのは、点字ブロックの突起のことです。隣の女性も「ほんとうにそうね。こんな邪魔なものの上を歩かなくないけれど、こんなに混んでいるとしかたないわね。そんな話をしながら歩いていました。

それを聞いていて、彼女がけがをしたこととはまったく無関係に、私はこう思いました。「このイボイボ、邪魔ね。ヒールの先が引っかけかっつて転んじやった」と言ったときの彼女の心の中に、その瞬間、だれかや何かを意図的に差別するつもりがあったかなと自問自答しました。たぶん、なかったらうなと思いましたが。そう思うと同時に、こんどはまったく違う逆のこともまた感じました。その瞬間、彼女の心の中に、差別するつもりはなかったらうことは理解できる。しかし、その差別するつもりへの反対、差別しないつもり、これもまたなかったらうんじゃないかと思えます。差別しないつもり、差別したくなくなる心といつてもいいんじゃないかなと思えます。(つづく)

# Hello! 姉妹都市

姉妹都市 棚倉町

## 棚倉の豊かな自然を生かした小学校

今月は、友好都市棚倉町(福島県)が、文部省の「文教施設のインテリジェント化に関するパイロットモデル研究」の指定を受け、学校建設に向け構想づくりを行った、社川小学校を紹介いたします。

社川小学校の新校舎は、「心豊かな人づくりと文化のまちづくり」を掲げる棚倉町の地域文化と歴史を継承し、新たに創成する拠点としての構想に基づき、平成九年に新設されました。敷地内には、わき水やイトトンボの群生場所のある天然のビオトープなどがあり、校舎は自然の中に配置されています。代々の卒業生が卒業記念樹を植えた「悪いの森」沿いの小道を通して昇降口に入ると、ホール・ランチルーム・中庭が広がり、差し込む陽光が目に入ります。中庭のかば桜と山

校は自生していたもの。また、音楽堂を舞台とする野外演劇場も中庭に設けられています。各学年(低・中・高学年)棟は、教室とオープンスペースを中心にデン(隠れ家)、ロフト(高見の場所)、和室、カーペット等の小コーナーや教師コーナー、テラスを組み合わせ、特色ある生活圏をつくりだしています。教室(学年)間には壁がなく、授業内容においても有効活用が図られます。また、特別教室は楽しさを感じられるようにするなど、新しい学校空間の可能性が提案されています。校庭には、明治三十七年に児童の健全な育成を願って移植された、一本の桜の木(樹齢百三十六年)があります。この桜は「希望の桜」と名づけられ、春になると鮮やかに咲き乱れます。町文化財の指定も受けていて、多くの見学者が訪れるほどです。開放的で、自然豊かな環境の社川小学校。子どもたちの主体的な学習、幅広い交流の場として、また、地域の人々の多様な活動の場として、広く活用されています。

## 暮らし広がる地域のわが自治会活動から

## 地域の三世代でふれあいを

11月5日、農業ふれあいセンターで、古谷東小・古谷小学校区育成会と老人会共催の「親子三代ふれあい広場」が行われました。当日は、約900人が参加。竹馬やしめ縄づくりに挑戦したり、折り紙やペーゴマ等、懐かしい遊びを体験したりしました。中には、子どもより夢中になるお父さんも? 春に自分たちで植え、10月末に収穫したさつまいももおいしく食べました。世代間の交流が自然に行われるこうした行事、今後ますます大切になりそうです。



竹細工コーナーでは、竹とんぼを作りました

# 省エネの鉄人



## 防災シリーズ 災害に備えよう

防災課防災担当 内線2241

### 特別編・「ごみダイエットコンクール」受賞者発表

環境政策課減量リサイクル推進係 内線2614

広報川越第九八九号で、「ごみダイエットコンクール」についての募集記事を掲載しました。このコンクールは、リサイクル活動の活性化と、ごみ減量に対して関心を高めるために行われたもので、自主的にごみを減量化する活動例を募集したところ、五十四点の応募があり、厳正なる審査の結果、次の方が受賞しました。

●ごみダイエット賞  
鈴木やよみさん（砂新田）



11月29日、表彰式がありました

ごみの持ち込みを徹底して抑制しました。壊れたきゅうすなども修理して利用。四人家族にもかかわらず、一人一日当たりのごみ量が百二十五グラム（川越市内平均一人約九百七グラム）には脱帽。

●すつきりスリム賞  
采澤好子さん（小仙波町二丁目）

ごみの分別をしつかり徹底しています。果物の皮などを入浴剤に利用するなど、アイデアに富んでいて、楽しみながらごみ減量に取り組んでいます。

●すつきりスリム賞  
清水恵さん（山田）

自宅のごみの多さに、一念発起。くふうすることが好きなことも手伝って、いらなくなったベッドを、棚や収納庫に作り変えるなどして、楽しみながら取り組んでいます。

●ファミリー賞  
小牧三恭さん（南大塚）

お子さんの宿題をきっかけに、ごみの減量活動を意識して、実践

しました。コンポストで作ったたい肥を利用した野菜作りなどを通じて、家族のつながりが強まりました。

●努力賞  
木戸保さん（笠幡）

ごみになるものは、徹底して買いません。資源を大切にすることを貫いています。

表彰式では、舟橋功一市長から、「ごみ減量について、こんなにもまじめに取り組む、ふだんから実践している、頼もしい市民の皆さんがいらつしやることは、これからの川越市の環境行政に、大きなプラスになります。今後も、皆さんにおかれましては、ご家庭でごみ減量のために活躍していただき、引き続き市のごみの減量・資源化に、ご協力をお願いします」という受賞者へのお礼を述べました。また、「市においても皆さんの実践例を参考にして、ごみの減量活動について、さらなる情報提供に努めます」と、決意のことがありました。

### 健康アドバイス

#### 寝たきり高齢者の口腔ケア

総合保健センター  
健康増進課成人保健係 ☎29・4124

口腔ケアとは、「口腔の疾病予防、健康の保持増進、リハビリテーションにより、クオリティ・オブ・ライフの向上を目指した科学であり技術である」（名古屋市衛生研究所 長・山中克己）。

口腔は、狭い意味では消化管の最上部を占める空間（口唇・口蓋・舌・歯肉・歯・頬）で、働きは食物をかみ砕き、唾液と混ぜ粥状にして飲み込みやすいようにし、また発声器・味覚器として働き、ときに気道としても働きます。また、口腔の果たす役割には、機能的な問題以外にも、精神的な問題も併せ持つ特徴があります（審美的なもの）。

「寝たきり」となった高齢者は、肺炎・尿路感染症・褥瘡等の感染症を発生しやすくなります。また、こういう高齢者には嚥下障害が見られることが多く、唾液の分泌量は少なくなり口腔内の自浄作用が低下し、そのために口腔内は汚染し、舌苔が付き、細菌が繁殖してきます。また、感染症治療のために抗菌薬が投与されていると、口腔・咽頭の常在菌叢は変化し、各種の細菌や真菌（カビ）が定着してきます。その他、気管切開・経鼻胃チューブの留置などの要因が加わり、汚染された口腔・咽頭粘液は、容易に気管内に吸引されるようになり、原因不明の発熱・肺炎の発症の糸口になります。

口腔ケアが適切に、またそれぞれの高齢者にあつたケアが行われると、口腔内の汚れは最小限に抑えられ、唾液の分泌は促進し、自浄作用も働き、肺炎等の発症を抑えることができるのです。また、口腔内の疾患を防ぐ（むし歯予防・歯周病予防・口臭予防・口腔粘液口唇の乾燥による出血予防等）こともできます。よって口腔ケアは、「寝たきり高齢者」には、なくてはならない重要なケアなのです。

川越市歯科医師会・中山京さんから原稿をいただきました。

## 消費生活レポート 75

### 加熱用ろうそくの事故に注意

アロマテラピーや、紅茶ポット等の加熱用ろうそくの使用中、炎がろうそくの上面全体に燃え広がり、ろうが飛び、やけどをしたという事故が起きています。

事例 2年間使用していたアロマポット内で、加熱用のろうそくを燃やしていたところ、2時間後に炎がろうそくの上面全体に広がった。ピンセットでろうそくをアロマポットから取り出すと、突然溶けたろうが飛び散った。手にやけどし、机の一部が焦げてしまった。

使用したろうそくは、金属カップに入っており、その深さは、2.6cmだった（従来品は深さ1.5cm）。

原因 事故の起きたろうそくは、金属カップが深く、炎が溶けたろうに引火しやすい構造。また、組み合わせていたアロマポットの空気取入口が大きく、炎の揺れを起こしやすい構造のため、長時間の燃焼により溶けたろうに引火してしまった。ろうの飛散は、金属カップをピンセットで持ち上げようとしたときの振動によるものだった。

#### 消費者へのアドバイス

①事故品のろうそくは、本来の用途が照明用とみられることから、通常販売されている加熱用ろうそくよりも金属カップが深く、長時間燃焼できる反面、中の溶けたろうに引火し、大きな炎とすすを上げて燃えることがあるので、注意が必要です。

②引火したときはもちろん、引火していない状態でも、燃焼中のろうは溶けているので、カップを揺らす・水滴をかける・吹き消す等の行為は、溶けたろうが飛び散ることがあり危険です。同様に、通常の浅いカップでも注意が必要です。



\*「くらしの豆知識2000年版」を配布中です。数に限りがありますので、お早めに当センターまで。

\*生活情報センターでは、商品や契約などについての相談を受け付けています。

生活情報センター ☎26-7476（相談専用）  
相談日…月・水・木・金曜日、午前10時30分～午後4時30分  
問い合わせ…生活情報センター ☎26-7066

## なるほど 市民に役立つ 市役所

### 美術館準備室

美術館準備室は、仮称川越市立美術館の平成十四年度（市制施行八十周年）開館を目指し、美術品の収集や、建設の準備を進めています。

建設にあたっては、市民に開かれた施設とするため、学識経験者や、市民からの公募による委員等で組織される川越市美術館建設委員会と協議しながら、計画を進めています。また、開館に向けての調査、研究および資料の収集や、所蔵作品の保存管理なども行っています。

平成七年度からは、美術講座や企画展を開催し、美術に触れる機会を提供しています。今年度は、十二月十七日（日）まで市立博物館で、川越市美術館準備室所蔵日本画展「雅邦の写意・青樹の写実」を開催し、川越ゆかりの作家が残した美を紹介しています。

今後も、川越の文化の中核として市民がいつでも利用でき、鑑賞・創作・発表を通じ、生涯学習等に有効に活用していただける、生き生きとした美術館を誕生させるため、努力していきます。

# ？あたらむ

Q 「川越市民のしおり」(暮らしの便利帳・保存版)に川越市の海拔が掲載されていますが、市内の最高地点と最低地点を教えてください。

A 川越市には、南西に広がる武蔵野台地と荒川沿いに広がる平野部があり、それぞれ特徴ある景観を見ることが出来ます。「川越市民のしおり」によると、川越市の海拔は十八・五メートル。これは市役所の位置での数値です。さて、川越市の都市計画図を見ると、特定の地点の高さがわかります。これによると、市内の最高地点は下赤坂地内(福原地区)で海拔五十一・二メートル、最低地点は波井地内(南古谷地区)で海拔五・八メートル。また笠幡(霞ヶ関地区)にも五十メートルを越える場所があります。これは、あくまで基準となる地点の数値。それぞれの計測地点近くには、さらに高い所・低い所があるかもしれません。土地の高低は、上水道・下水道とかわりがあります。県から供給される上水の受け入れ口である中福受水場(福原地区)は、なるべく動力を使わずに家庭等へ水を送るために、比較的高い現在の場所に設置されています。

## おしゃべり倶楽部 141 気楽木 メタセコイア



初雁中学校(宮下町1丁目)

スギ科メタセコイア属に分類されるこの木は、300万年ほど前に絶滅したと思われていたために「生きて化石」と呼ばれています。成長が非常に早く、高さ35メートル、幹の直径が2.5メートルになるものもあります。針葉樹には珍しく落葉し、紅葉するその色から「アケボノスギ」の別名があります。病虫害もほとんどなく、北海道から九州まで広く植えられています。当初は北アメリカから輸入され、それらの木の枝を挿し木にして育てられたものです。自然に円すいとなる樹形が美しく、どんな所でも強く、大きく育つこの木を見て、こうありがたいものだと思うのは私だけでしょうか？

## みんなの作文

がんばったサッカー大会

霞ヶ関東小学校五年

小野剛史



十一月九日に、今成小学校とのサッカー大会がありました。ぼくは、この日までたくさん練習をしてきました。もちろん体育の授業では、いっぱいサッカーをしたし、休み時間も放課後時間もあればかかさず練習をしました。そして、東小の一組対二組の練習試合の日、ぼくは朝からはりきっていました。ところが、せっかくパスをもらったのに、ぼくはそれをどこにパスしていいかまよひ、相手にとられてしまったのです。せっかく仲間がくれたチャンスだったのに……。くやしくてたまらず、それからは大好きな野球の練習もやめて、放課後もすべてみんなでサッカー練習をする事にしました。その結果、二回目の一組との試合では同点になりました。もちろん勝つ事が目標だったけど、同点になっただけでもうれしかった。でも負けよりも同点、同点よりは勝利を



\*ふりがなは広報室で付けました。

## のびのびぎんぎんバー

### エイジシニアターのゴルフは真剣

「基本に忠実なのが、ゴルフ上達の秘けつです」と矢嶋正一さん(71歳・三光町)。ボールをまっすぐに飛ばすためには、正しいグリップ・スタンス・スイングが重要です。初心者はスイングに問題があることが多いにもかかわらず、グリップやスタンスで調整しようとしがちだそうです。旧制中学で柔道をやり、片道四キロメートルの道のりを徒歩で通学したので足腰が強くなったという矢嶋さん。昭和三十三年に職場で上司に誘われてゴルフを始めます。「私がゴルフを始めた当時は、技術・マナーがないとコースには出られないといわれていました。そのため、半年の間みっちり練習



賞状を手に、にっこりする矢嶋さん

「この年齢になると、体力は下りのエスカレーターを登っているようなもの。ちよっとした油断ですぐ下がってしまいます」。体力を維持するために練習は欠かせません。また、練習することでラウンド中に冷静さを保ち、どんな局面にもびくともしない自信がきます。「エイジシニアターで優勝してみたいですね」と目標を語る矢嶋さんです。

## 短歌

四元仰・選

旅に会う大木ことと抱きしめてこの身に精気乗り移り来よ  
白粉のなだれ咲きおひらに道になつかしく佇つ  
鉦太鼓鳴して山車はゆるゆると木犀匂う町を引かるる  
道のべに茶の木を覆う朝顔の涌き出でし如あまた花咲く  
孫よりの絵手紙届く敬老の日拙なき文字をいとおしみ読む  
この孫を愛そうと決め九年経ちぬ床に入り来る少女の匂い  
豊作の稲刈り終えて初穀焼く煙漂う日暮となりぬ  
遠足の子等が降りたつ山峡の駅はひととき賑わいに満つ  
ぎしぎしと山車過ぎゆきぬこのまちに住みて四十二年が経たる  
笑みて去る母のつく杖減り激し涙こらえてわれの見送る  
池田和子(小堤)  
大久保ふく(下広谷)  
加藤世塩(笠幡)  
権田政子(笠幡)  
白石和子(石原町一丁目)  
関谷富久子(旭町一丁目)  
高橋タケ(木野目)  
塚野信(酌場)  
山崎すみ子(西小仙波町二丁目)  
芳山豊(今成)

## 俳句

藤倉東郷・選

護摩を焚く五鈴の音のさわやかに  
木犀の香に沿ひ戻る家路かな  
瓜さむ音はづみを嫁がゐて  
夕顔の花数えおひら垣の外  
曼珠沙華畦道曲るばかりなり  
家光の誕生の間や菊白し  
杉の香の割箸を添へ走り蕎麦

## 川柳

山崎涼史・選

入院へホットニュースを持つ見舞い  
眠ってる力引き出す寝め上手  
謹呈をされて一筆書かされる  
ストレスを孫の笑顔が消しに来る  
無批判に右へならえをするこわさ  
芋煮会舌が知ってる故郷の味  
木枯しの音熱燗の欲しい音  
木枯しを聴いて地酒を温める  
五割引き仕入れ価格はいくらかな  
ロボットに人が追われるオンライン

## 募集要領

- 募集作品  
かい書で明記(鉛筆書き不可)し、すべての漢字にふりがなを付けてください。  
短歌部門=当季雑詠3首(当用漢字・現代かなづかい)  
俳句部門=当季雑詠2句(新かなづかいと旧かなづかいの別を明記)  
川柳部門=雑詠3句(当用漢字・現代かなづかい)
- 応募規定  
応募は市内在住の方、作品は未発表・創作のものに限ります。作品は返却しません。掲載にあたり、選者が手を加える場合があります。  
応募方法…ハガキに部門・作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広報室へ郵送  
締め切り…毎月末日(2月掲載分は12月28日(必着))

# 木をいたわり 木に癒される

川越巨樹古木の会

「自然「緑」ということばにあらがれを感じる人は多いのではないだろうか。「自然の中でリラックスしたい」「緑の中で過ごしてみたい」など、そこには自然に「癒し」を求める姿があるように思います。

「川越巨樹古木の会」は、川越にある巨樹・古木を訪ね歩き、仲間とともに木について語り合う会。四季折々の、木が見ごろな時期に開かれるという探訪会には、毎回十人ほどが参加しています。会のメンバーが木に寄せる思いを知りたくて、探訪会に同行してみました。

## ■木を愛する仲間ととも

川越巨樹古木の会は、「全国巨樹巨木林の会」に加入している金子晃さん(62歳・霞ヶ関東五丁目)の「川越にもすばらしい木がたくさんある。多くの人と木について語れたら」という思いから、平成十一年に生まれました。金子さんの呼びかけに、木を愛する仲間が少しずつ増えていき、現在の会員は二十六人ほど。会では、単に大きな木に関心を持つのではなく、長い年月を生きてきた古木、その土地の歴史、木の周りの環境のことも大切に考えています。

十一月五日の探訪会には、十人の仲間が集まりました。この日は、「鯨井のヒラギ」と「下小坂の大ケヤキ」を中心に、約十キロを歩いて回るコース。最初のころ、金子さんは車を使つての移動も考えたそうです。しかし、集まった仲間と相談すると、

「せび歩いて訪ねたい」という意見。そこで、市内を歩いて回る今の形になりました。ただ歩くだけでなく、疑問に思つたことは「すみません、ちよつとお伺いしたいのですが……」と、その土地に住む人に尋ねるようになっています。歩くことで交流の楽しさが広がっているようです。

## ■成長を見守りながら

この会では、木の生きてきた年代を感じ「順調に成長してますね。機会があることに木を計測し、成長を見守っています。」



年輪は、木の育った環境を知る手がかりになります。初めての写し取り作業に、会員たちも興味津々。



るため、また木の成長を見守る手段として、幹回りの計測を行っています。最近、木の計り方が統一されたので、会でもその方法を覚えて実践しています。一人ではとても計れない大きな木も、これだけの人数がいれば安心。また、この日は切り株の年輪を写し取る作業も初めて行われました。

下小坂の大ケヤキに到着したときです。木の根の間に空き缶が投げ込まれているのを見つけました。「ひどいことをする」と、みんな残念そう。深い穴のようになっていたため、メンバーの一人が棒を使い、やつとこのことで取り出しました。

## ■大きな木の感触

探訪会終了後、この日初めて参加した藤川たせ子さん(62歳・下新河岸)は、「大きな木に興味があり、参加しました。大ケヤキの迫力にはびっくり。一万八千歩くらい歩くの間、少し不安に思っていました。楽しく話し、木を見ながら歩いていると、あつという間です。疲れたけど、さわやかな汗が流せました」とにっこり。また、加藤高子さん(68歳・中原町二丁目)は、

## ■いたわり、癒される

木を愛し、成長を見守っていく「木をいたわる」面と、長く生きてきた生命力豊かな巨樹や古木に触れることで、みずから「木に癒される」一面。この二つが、川越巨樹古木の会にはあるようです。そして、木を愛する仲間と共に語り、歩くことで得られる達成感・充実感が、会の原動力になっているように感じました。

私たちの何倍もの時を生きてきた巨樹・古木。これからも人々を見守り、また人々に見守られながら生きていってほしいと思います。



## 三十六年ぶりに復活「四季の川越」



十一月十三日、元町一丁目の割烹・初音屋で「川越料理店組合百周年記念「四季の川越」と小江戸川越座敷芸の集い」が行われ、長唄「四季の川越」が三十六年ぶりに上演されました。

この長唄は、昭和七年の埼玉県特産品宣伝会で、県内の郷土芸術の上演が企画されたことをきっかけに誕生。当時、川越には郷土芸術といえるものがなかったため、川越市の面目にかけて、この曲の制作に取り組みしました。翌年完成したこの曲は、川越の景勝・史跡を四季折々に織り込んだ、みことな出来栄。公式の場では、昭和三十九年の市民会館落成式に上演されましたが、その後、上演の機会はなく、幻の長唄となりました。

この日復活した「四季の川越」は、川越で唯一の芸妓・きん子さんが三味線と伴奏を、芸妓の経験がある葉子さんが踊りを担当。ほかにも昭和五年に作られた「川越小唄」や、座敷芸の数々が披露され、招待客から大きな拍手が起きました。多くの人の努力で生まれた、川越独自の文化。失われず、残って欲しいものです。

「自然「緑」ということばにあらがれを感じる人は多いのではないだろうか。「自然の中でリラックスしたい」「緑の中で過ごしてみたい」など、そこには自然に「癒し」を求める姿があるように思います。

「川越巨樹古木の会」は、川越にある巨樹・古木を訪ね歩き、仲間とともに木について語り合う会。四季折々の、木が見ごろな時期に開かれるという探訪会には、毎回十人ほどが参加しています。会のメンバーが木に寄せる思いを知りたくて、探訪会に同行してみました。

## まちのできごと

川越市の面積は109.16km<sup>2</sup>

## 109パレット

### 朝市に「いらっしやい！」

仲町の松本醤油商店駐車場で、10月から「川越仲町元気市」が開催されています。毎月第1・第3日曜日の午前8時～正午、新鮮な地場農産物などを販売。「いらっしやい」と元気な声が飛び交う朝市は、生産者と消費者が直接、触れ合える魅力があります。地元の方はもちろん、多くの人々に愛される朝市になるといいですね。



ちよつとした会話も買い物も楽しみ

### 日本一の腕前です

クレー射撃の全日本選手権大会トラップの部で初優勝した、小原誠さん(32歳・通町)。同じく選手である父・征男さんが優勝を逃していた大会だけに、喜びもひとしお。「家族の協力があったからこそ、ここまで来られた。4年後の埼玉国体、そして、アテネオリンピック出場を目指したい」と、きっぱりと夢を話してくれました。



勝負は一瞬、集中力が決め手です(写真提供：小原誠)

### 地域の伝統芸能を小学校に

11月18日、高階西小学校の音楽会で、ことし結成された「おはやしクラブ」の15人が、地域の伝統芸能「藤間囃子」を披露しました。5月から週1回、藤間囃子保存会の皆さんの指導の下、練習を重ねてきたものです。笛や太鼓が並ぶ舞臺に面を付けた舞い手が登場すると、見ている子どもたちから、どよめきがありました。



「緊張したけど、踊っていると楽しくなった」と子どもたち



## 旅の空から

わたしの旅日記

花咲く北の大地と 相原求一朗画伯の足跡を訪ねて

宣保菊江(70歳・六軒町1丁目)

7月中旬に、川越市民号に参加しました。

オホーツク海の静けさ、層雲波の石狩川源流の水の冷たさを味わい、胸一杯森林浴を楽しみました。

2日目は、美瑛と富良野のナチュラルカラーと虹色の丘、見飽きることのない美しさでした。ハンングライダーの基地、狩勝峠の雄大な眺めに、北海道の大きさを実感いたしました。

3日目は、柏の森の中を木漏れ日を浴びながら、鉄道の枕木を敷いた小道を辿って、瀟洒な相原求一朗美術館を訪ねました。絵画と美術館、森のかもしだす調和は見事でした。

中札内村の心尽くしのバーベキューの昼食会は、珍しい高温に汗だくの中、見知らぬ方々との会話も弾み、共通の知人の話題が出たりして、まるで親戚どうしの旅の気分です。

この旅では、お互いに譲り合い、助け合う光景に、何度も出会うことができました。これが最大の収穫だったかもしれません。中札内村と市民号の皆さま、お世話になりました。

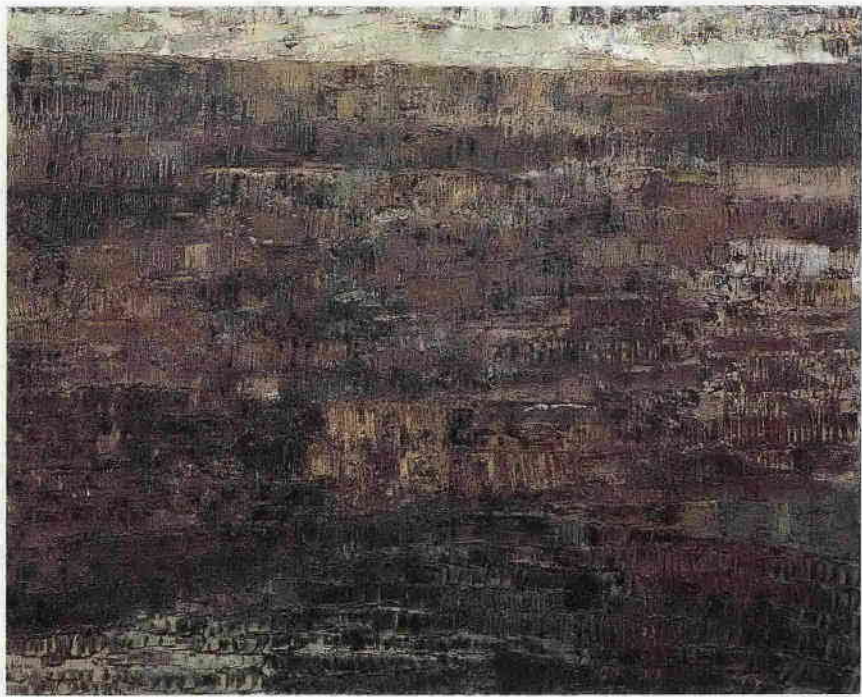
\*ふりがなは広報室でつけました。

## イラストコーナー



早川紗織(15歳・砂新田四丁目)

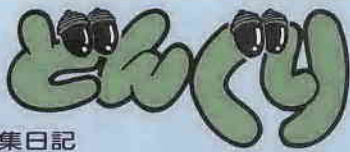
# 風の渡る大地 9



風景 100F 1962

「秋 絢爛たる大原野が眼下にあつた 私は 敢えて黒一色に塗り込め ひそやかな 地底のつぶやきを聞こうと思った」。札幌から帯広に向かう列車が狩勝峠のトンネルを抜けたとき、相原求一朗さんは、迫り来るまばゆい展望に圧倒されました。その抽象風景に厳然とした形を見つけ、おそらく、見えないものが見えるものを支えている大自然に自分の方向性と合致するものを見いだしたのでしょう。「風景」は新制作協会第二十六回展に入選。翌年は「原野」で新作家賞を受賞し、同協会協友になります。

## TV わが街川越 番組ガイド



### 編集日記

「それ紫のゆかりも深き大江戸に」と始まる長唄「四季の川越」。昭和5年に作られた「川越小唄」とともに、当時の川越の威信を懸けて作られた歌ですが、戦後の復興から平成への移り変わりの中、時代に埋もれていました。そんな折、川越料理店組合主催による「『四季の川越』と川越座敷芸の集い」が開催されると聞き、取材を申し込みました。100人以上の組合員やお客さんを前に三味線と太鼓、そして踊りが、あでやかに演じられ、映画などに見る昭和初期の光景のようです。それは、再び演じられるかどうかわからないタイムスリップの2時間余りでした▶忘れられつつあるこれらの歌のうち「川越小唄」は、昭和5年ごろにレコードが発売されたそうです。この貴重なレコードを探しています。心当たりのある方は、広報室にご連絡ください。



表紙地図



まぐろ解体実演 (11月23日・川越市場まつり)

**時代を超えて、新世紀へ**  
市内の交通渋滞緩和のため、十一月三日から五日にかけて行われた「パークアンドライド社会実験」。三日間の結果から、今後の川越の交通政策について考えます。まちの話では、「さんばく二〇〇〇」と「市場まつり」の様子をお知らせします。

### テレビ埼玉 (38ch)

12月16日(土)／午前10時20分～10時30分  
12月17日(日)／午後5時30分～5時40分

### 川越ケーブルテレビ (15ch)

12月15日(金)まで \*12月16日(土)からは「わが街川越20年のあゆみ」を放送予定です。  
土・日曜日／午前9時30分～午後3時30分～午後5時30分～午後8時30分～午後11時30分～  
月～金曜日／午前9時30分～午前11時30分～午後5時30分～午後8時30分～午後11時30分～

### テコケーブルテレビ (9ch)

12月24日(日)～30日(土)  
午前6時30分～午後0時30分～午後4時30分～午後7時30分～午後9時30分～

\*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。